



ROAD No.24

編集・発行：
上智大学教育学科同窓会

2018年度 教育学科同窓会 会員大会 11月10日（土）に開催

- 講演会・会員大会 …… 午後2時～午後3時45分（午後1時30分 開場）
- 懇親会 …… 午後4時～6時
- 会場 …… ソフィアズクラブ（ソフィアタワー6F）
- 懇親会費 …… 3,000円（現役生は無料） ※ 当日受付でお支払いください。

米国のオレゴン州での小学校体験を契機として、約十年後に上智大学で教育哲学／社会学を専攻。デュイイの思想を学び、コミュニケーション論を極める。東大大学院に進み二〇〇八年に博士号を取得。「哲学と実践をつなぐ」をモットーに、現場と深く関わりや学び合いや協同学習をテーマに、前任校の大東文化大学では先生の養成に尽力されて来ました。

四月、総合人間科学部教授の正式着任と同時に、今年度の講演会講師をお願いしたことは言うまでもありません。

淡々としたお人柄の中にも、真摯な研究者と実践者としての情熱を併せ持つ上野先生。教育学を学んだ我々には、特に、琴線に触れるお話が聞けるのではないのでしょうか。

高祖先生が退職され、上野先生をお迎えする。時代は流れます。皆さま、ご参集ください。



【講師からのメッセージ】

グローバル社会や多文化共生社会と言われるようになって久しい。では、この間、学校と学びと教育のあり方はどう変化したのでしょうか。アクティブ・ラーニング、小学校英語、プログラミ

二〇一八年度 会員大会 講演会
「グローバル化時代の学びを考える
— 教育の哲学と実践の間で —」
講師 上野 正道さん（上智大学総合人間科学部教授）一九九八年卒

◇会員大会・アジェンダ◇ （一五時二〇分～一五時四五分）

記

- 一、開会宣言
 - 二、役員改選と活動報告
（長尾会長）
 - 三、組織委員会報告
（赤松副会長）
 - 四、会計報告
（会計委員会）
 - 五、会計監査報告
（監事）
 - 六、閉会宣言
- 以上

二〇一七年度 教育学科同窓会会員大会 講演会報告 「私の学校経営 公立小学校の現場から」 講師 黒木 健さん（一九九三年卒）

昨年の十一月二十六日（日）、二〇一七年度の教育学科同窓会会員大会が新ソフィアンズクラブで開催されました。講演会の講師には、民間人校長として八年目、横浜市立小山台小学校校長の黒木健さんをお迎えしました。

教育学科に在籍当時は高祖ゼミで学ばれていた黒木さんは一七年間民間企業に勤められ、四一歳の時に転身されました。

その黒木さんが今小学校のリーダーとして思うことは？公立学校の校長という話しづらい立場ながら同窓会というクロージドな状況ゆえの録音なしのオフレコとして、興味深いお話を伺うことができました。

ここでは関係機関に配慮した内容に編集してお伝えします。

文部科学省発の最新のデータは見つからず、黒木さんの調べでは平成二四年度の発表資料があり、民間出身校長は全国で八九人、そのうちおよそ半数の四二人が

高校、小学校長は三二人だそうです。

最近採用を取りやめる自治体が増え、全国的には減少傾向のようです。たしかに民間人校長というと、大阪市のいくつかの事例からネガティブなイメージを持たれることもあります。

しかし、今求められている「社会に開かれた学校」という国のコンセプトからすれば、期待される存在のほうです。例えば横浜市は「横浜の学校に新たな風を吹かせることを期待し」、平成三〇年度も民間人校長の選考を実施しています。



「自己紹介させていただきます。」

黒木さんによれば、「学校運営」は教職員による教育活動の総体であり、一方「学校経営」は校長によるマネージメントを指し、ここが腕の見せ所となります。

教育委員会（教育行政）と学校（現場）は、企業における本店と支店の関係でなく、その構造は二極化して見えるそうです。学校現場は多様化する教育的ニーズへの対応に追われ、教育行政は各種施策の現場への投入に必死です。

この差が、学校評価のダブルスタンダードにつながっていると分析されました。

お話の中に、学校ではいまだに実践ばかりがクローズアップされ、子どもがどう力を伸ばしたのか数値化して検証していないとの指摘がありました。最近エビデンスという言葉をよく耳にするのは、そういうことなのでしょう。さて、民間人校長に寄せられたのは、保護者からは期待であり、教職員からは懸念でした。それぞれが民間人校長にとっての先天

的メリット、デメリットだと黒木さんはおっしゃいます。保護者は学校の文化、学校側の論理を変えてほしいと願い、教職員は急激な変化を起こされるのではと漠然とした不安を抱きます。



熱心に聞き入る同窓生たち

が何かを見極める。PTAの会合では、自ら広報に努める。校長という世界では、おそらく少ないタイプの方でしょう。

保護者目線という点からは、保護者に評価される、目に見える変化を大切にして、宿泊学習等の費用圧縮とクオリティ向上、授業参観日の振替を活かした連休の創生などに取り組まれました。学校は確かにサービスマンではないが、ホスピタリティー向上は常に意識すべき。さすが民間人校長の視点です。

もちろん学校が大切にすべきなのは一人ひとりの生徒です。いじめ、友人関係、勉強の悩みなど、子どもから訴えのあったことは即日対応。子どもの学校での居場所確保。特別な教育ニーズに対応する人員体制づくり。このあたりは、まさに教育学科卒を感じるお話でした。

最後に、新しい風は時として波風になること、そして教育の現場では教員の思いの強さや時間のかけ方など意味ある不合理さが重視されることも知りました、と正直な感想を述べられ、まとめられました。内容のとても明確、明瞭なご講演でした。

（文責・栗原 峰夫）

「高祖先生最終講義・感謝の会」

実施報告



懇親会 高祖先生の最後のご挨拶

二〇一八年三月三日の土曜日、四谷キャンパス六号館六・三〇七教室（三八〇席）は、多くの卒業生で埋め尽くされました。高祖敏明教授の最終講義が開催されたのです。先生の広島での生い立ちから始まり、上智大学での学生・院生時代そして大学教員になり携った教育活動・研究課題について、さらに上智学院理事長としての大学全体の運営と対外的な活動について、多くの写真を用いたパワーポイントを駆使して私たちに紹介して下さい、約二時間の講義は、一言も聞き漏らさないとする出席者の熱気に包まれました。

会場を二号館学生食堂に移しての「感謝の会」には二百名以上が出席し、来賓として歴代の名誉教授の先生方も駆けつけました。

隣道（てるみち）上智大学学長の祝辞で始まった「感謝の会」は、さながら同窓会の様相となり、あちらこちらで先生を囲み笑顔の花が咲きました。会場には、過去のオリキャンのアルバム等から「同窓会」役員が渾身で作成したスライドショーが披露されました。最後には年代ごとの記念撮影を行い、お開きとなりました。



同窓会からの記念品を手渡す
長尾副会長(当時)

なお今回の準備・運営には学部スタッフ、学生、院生、ゼミOBそして「同窓会」スタッフが全面協力しました。

（文責・神林達郎）

「高祖先生のもとで学んで」

飯島 亜衣（旧姓 藤井）二〇〇一年卒

一九九七年の一般入試面接官は、笑顔で掘り下げた質問をなさる方で、それが高祖先生でした。「外国教育史」の授業では、学部一年生のリアクションペーパーにも、細かくフィードバックをしてくださいました。

「一番厳しいゼミだよ。」と聞いても、私は、高祖先生のゼミと決めていました。そして、学部、修士、博士課程と九年間、あたたかい「教育者」と厳しい「研究者」の高祖先生にご指導いただき、感謝の念が尽きません。

一九九九年、高祖先生が理事長になられ、ザビエル渡来四五〇周年のシンポジウムで「多忙な中でも、月曜日九・一〇限の学部生の「外国教育史」ゼミを休まれることはありませんでした。また、大学院の授業は七号館の研究室で、原著購読や論文指導、質問の仕方を学び、お茶もいただきました。

修士論文提出前、クリスマスの二五日にS Jハウスと呼ばれ、いただいた「祝福」は、章と節の構成を練り直すための、みっちり一

時間の論文指導でした。また、学会発表に向けては、質疑応答を考慮し、分秒単位で原稿を時間配分するよう、先生の前で練習を重ねました。他のゼミ生も経験されたように、有り難く緻密なご指導でした。

また、女性の置かれた環境に理解ある先生のお陰で、博士課程在学中に縁談があり、娘を育てながら満期退学を迎えることができました。翻訳書の出版では、「正確な文章を書くこと。英語から日本語、その逆に戻しても同じ意味になるように。」という教えを、常に念頭に置きました。現在も細々とですが、学会発表や講演、学会役員の仕事を続けることができております。

そこで度々、「指導教授はどんな？」と聞かれ、「良いご指導を受けましたね。」と頷かれます。それは、高祖先生から巣立っていた方々が、広く社会で活躍しているからでした。私のような能力不足の教え子も見捨てないでくださった時、高祖先生はまさしく「神父様」でいらっしゃいました。

【お知らせ】

田中治彦教授 「最終講義・感謝の会」

日時：2019年3月2日（土）

・最終講義 14:30～16:30 6-301

・感謝の会 17:00～19:00 教職員食堂

※ 詳細は総合人間科学部 HP 等でご案内します。

野球部や山岳部で鍛えた脚力で、高祖先生は、今もメインストリートを変わらぬ速度で歩いていらっしやいます。軽井沢合宿の思い出で、突然の雨に降られゼミナーハウスに戻る時、先生の自転車立ちこぎに、私たちは追いつけませんでした。そして、その三分後には颯爽とゼミを始められたのです。

高祖先生、先生のもとで「教育学」を学び育った全員のために、どうぞこれからも続けてご指導ください。一月一日の御誕生日をお祝いし、毎年OB OGで集まることを計画しています。



☆☆2017年度「上智大学教育学科同窓会」活動報告☆☆ 《2017年6月1日～2018年5月31日》

- ① 2017年07月08日(土) 15:00～17:30 役員会／運営会議
- ② 2017年09月30日(土) 13:00～18:00 ROAD 発送作業、役員会／運営会議
- ③ 2017年11月19日(土) 13:00～17:30 同窓会名簿管理・更新作業
- ④ 2017年11月26日(土) 14:00～18:00 「教育学科同窓会 講演会・会員大会・懇親会」
- ⑤ 2018年01月13日(土) 15:00～17:30 役員会／運営会議
- ⑥ 2018年01月21日(日) 13:00～17:00 役員会／運営会議、「高祖先生最終講義・懇親会」準備作業
- ⑦ 2018年03月26日(月) 13:00～15:00 「学位授与式」(学科単位参加:同窓会からのご挨拶と記念品贈呈)
- ⑧ 2018年03月03日(土) 12:00～19:00 「高祖先生最終講義・懇親会」運営協力
- ⑨ 2018年04月21日(土) 15:00～17:30 役員会／運営会議
- ⑩ 2018年05月19日(土) 15:00～17:30 役員会／運営会議

※ 各種行事等は、同窓会の皆さまの「終身会費 ¥10,000」にて運営されております。まだ納入されておられない方は、この機会に是非「終身会費」の納入にご協力をお願いいたします。(同封のコンビニ払込用紙をご利用ください。)

◆◆「上智大学教育学科同窓会」新役員紹介◆◆

《2018年6月1日～2021年5月31日》

- 会長 : 長尾 和洋(1986)
- 副会長 : 神林 達郎(1983)、赤松 加奈子(1987)
- 一般役員: 伊藤 奈美予(1977)、太田 尚子(1978)、栗原 峰夫(1982)、栗原 明子(1985)、石丸 達也(1986)
片桐 智樹(1991)、黒木 健(1993)
- 監事 : 手島 美智子(1978)、渡辺 智子(1985)

※ 以上、会長、副会長(2名)、一般役員(7名)、監事(2名)が、定例の運営メンバーとなります。

上智大学教育学科同窓会 2017(平成29)年度 会計報告
(平成29年6月1日～平成30年5月31日) (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	1,705,468	事務局運営費	
会費		振込手数料	1,512
終身会費:銀行振込	30,000	会議費	2,510
終身会費:コンビニ振込	220,000	インターネットプロバイダ	13,500
同窓会参加費	105,000	会員大会関連	
銀行利息		講師謝礼	7,592
三井住友銀行	1	懇親会費	107,775
ゆうちょ銀行	2	会報関連費	
寄付		ROAD印刷代	19,930
上智大学教育学科	100,000	発送用封筒他	14,645
		輸送交通費	
		送料	195,790
		会費集金事務関連	
		コンビニ振込用紙作成	89,229
		集金事務手数料関連	14,017
		慶弔費	
		卒業祝(シャーボ)	32,432
		高祖先生感謝の会	47,358
		小計	546,290
		繰越金	1,614,181
合計	2,160,471	合計	2,160,471

上記の通り平成29年度の会計を報告いたします。

平成30年9月17日

会計担当: 石丸 達也 伊藤 奈美予

上記の会計報告書を監査した結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成30年9月17日

監事: 手島美智子 渡辺 智子

【会計担当役員からのお願い】
同窓会の繰越金は、毎年減少の一途となっております。会報誌「ROAD」の作成・発送、「講演会・会員大会」の実施その他は、全て同窓会会員の皆さまの「終身会費」のみに支えられています。「終身会費」は、既に多くの同窓会会員の皆さまから納入をいただいておりますが、その割合は未だ十分とは言えないのが実情です。お一人でも多くの皆さまからの納入を期待しております。よろしくごお願い申し上げます。

上智大学教育学科同窓会報 ROAD 第24号

発行: 上智大学教育学科同窓会 責任者: 会長 長尾 和洋
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

上智大学総合人間科学部事務室内

TEL: 03-3238-3650 FAX: 03-3238-3980

ホームページ: <http://www.sophia-education-alumni.com/>

Facebook で最新の活動をお知らせしています!



【 WANTED! 】

- ✓ お知り合いの同窓生に、「ROAD が届かなくなった。」「そもそも届いていない。」等の方はいらっしやいませんか?
- ✓ 同窓会ホームページの「コンタクト・ページ」経由、または sophia.education.alumni@gmail.com まで、お名前(含旧姓)・ご住所・卒年をお知らせいただくよう、是非お伝えください。